

今月号はJA鳥取県大会で決議したJAグループの目的(あるべき姿)
Ⅱ「地域社会への貢献」についてお伝えします!

JAグループは昨年11月21日のJA鳥取県大会で向こう3年間(2019~2021年)の取り組みを決議し、3つの目的(あるべき姿)の実現に向け、さらなるJA自己改革を推し進めていくこととしました。

- 「目的Ⅰ：持続可能な鳥取県農業の実現」
- 「目的Ⅱ：地域社会への貢献」
- 「目的Ⅲ：協同組合としての役割発揮」

日本の地域社会では、高齢化社会・過疎化など様々な課題がありますが、JAグループは地域に根付いた存在として食農教育などの活動展開・総合事業機能の発揮により、地域社会に貢献できるよう取り組みます。

目的Ⅱ：地域社会への貢献

1. 生活基盤の維持・強化

★地域を支える活動の充実

- JAの拠点施設を組合員の皆さんとの接点の最前線とし、サークル活動の支援や、外務活動を通じた見守り活動等に取り組みます。
そして行政や他団体とともに地域のつながりを強めていくなど、地域を支える活動を充実させます。

★JAでの具体的取り組み
○○○○○



2. 地域活性化につながるJA活動の充実

★農業を通じた食・環境への理解促進

- 放課後児童クラブ等を対象にした新たな食農教育の取り組み等、さらなる食農教育活動を展開します。
また、青壮年・女性組織などと連携し、JAおよび農畜産物がより身近に感じられる取り組みをすすめます。

★総合事業機能をいかした活動の展開

- 様々な年代に向けて地域に根付くJAならではの総合事業を展開し、地域社会の活性化に結びつけます。

★JAでの具体的取り組み
○○○○○

上記のことの具体的な取り組みについては、随時広報誌等で皆さんに発信していきます。

次号では、JA鳥取県大会で決議されたJAグループの「目的Ⅲ(あるべき姿)：協同組合としての役割発揮」の詳しい内容についてお伝えしていきます。